

# 長者町 アートアニュアル 実行委員会

## 団体名・概要

長者町アートアニュアルは、長者町界隈がまちなか会場となった「あいちトリエンナーレ 2010」会期終了後も、アートまちづくりを継続していくために、まちの有志で結成された任意団体です（2010年11月発足）。

発足以後、まちの夏祭り「長者町大縁会」を新たに生み、秋には地元のお祭り「ゑびす祭り」にて山車（作品）を毎年運行しています。一方、年間を通じ、アーティストの制作空間「長者町スタジオ」や滞在空間「長者町アーティストインレジデンス」の運営を始めるなど、イベントからプラットフォームづくりに至るまで各団体と協働しながら、多様な役割を担おうとしています。

## 1 まちかどアート

あいちトリエンナーレ 2013 の作品として作詞・作曲された「長者町音頭」を、まちの面々で振り付け。長者町の夏祭り「真夏の長者町大縁会」にて、初お披露目し、秋祭りでも踊りました。

アーティスト：菅沼朋香



## 2 ゑびす祭りでの山車の運行

戦前、長者町に山車が存在していたことを知ったアーティスト（kosuge1-16）が「あいちトリエンナーレ 2010」とプレイベント「長者町プロジェクト 2009」にて、まちと協同して制作した山車を、2011年、2012年に引き続き、2013年も秋の長者町のお祭り「ゑびす祭り」にて練り歩きました。2013年は、2回目のあいちトリエンナーレを迎えるにあたり、山車もバージョンアップ。また、お祭り会場の丸の内側への延伸に伴い、桜通を山車が渡りきりました。



## 3 活動の情報発信 「長者町アートアニュアル 2013 展」

まちなかの展示スペースとして感度の高い若者が集まるカフェで展覧会を開催し、3年間の活動の軌跡を展示しました。



## 4 今後の活動

今年度は、これまで行ってきた活動を引き続き行いながら、二回目のトリエンナーレをきっかけに生まれている各種団体や長者町やアートファンの交流の受け皿を設けるなど、各団体とのプラットフォームとして活動していくとともに、新たに残された作品の維持管理をまちの団体として行っていく予定です。

